



田園調布中だより

発行日 令和8年4月20日
令和8年度 4月号
大田区立田園調布中学校
校長 田谷 至克

令和8年度のスタートにあたって

大田区立田園調布中学校長 田谷 至克

陽春の候、保護者、地域、近隣の学校、関係機関等の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本校3年目となりました校長の田谷至克（たや のりよし）と申します。本年度もどうぞよろしく願いたします。本年度は4月1日の時点で、新入生が41名（2学級）、2年生56名（2学級）、3年生52名（2学級）、計149名の6学級となりました。

<4月6日（月） 始業式 校長式辞概要>

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

本年度本校は、大田区の独自教科「おおたの未来づくり」に係る研究実践校の指定を受けました。

みなさんがこれからの予測困難な未来社会を創造的に生き抜く力を身に付けるとともに、自他のウェルビーイングが実現された社会を創る担い手になることを目指しています。週に1コマ、総合的な学習の時間を活用して進めていきます。

キーワードは「創造」です。中学生のみなさんが「身近な地域・社会のために何ができるのか」を考え、目標達成のために関係する人々や企業などと連携・協力し合いながら、よりよい地域・社会を創っていきこうというのが趣旨です。具体例は、昨年度実施した田園調布駅前にある「ジャンフランソワ」とのコラボです。「みんなで創ろう！オリジナルパン」というテーマで、「こんなパンがあったらいいな」などの自由な発想のもと、アイデア商品を開発しましたね。

また、本年度より地域の教育力を生かした「地域とともにある学校づくり」を目指すため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入しました。

地域や保護者のみなさんには、これまで、職場体験、職業人講話、部活動の外部指導員、ガーデンパーティーなどの地域行事、地域の防災活動等々でお世話になっていますが、これまで以上に様々な方面の力をお借りして、学校教育をより充実させるための仕組みです。

ぜひ今年は、当事者意識をもって考える「主体性」、仲間と積極的に話し合う「コミュニケーション力」、協力し合いながら目標を達成していく「行動力」を大切にしてほしいと思います。

<4月7日（火）入学式 校長式辞概要>

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

充実した中学校生活を送るためにアドバイスを二点贈ります。

一点目は、本校では「心豊かで、思いやりのある生徒」の育成をめざしています。そこで、「あいさつ」に力を入れています。田園調布中学校の生徒はとてよ気持ちのよいあいさつをしてくれると評判です。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」などから、「ありがとうございました」「失礼します」などまで、しっかりと表現することができます。

あいさつは、「心の窓」だと思います。気持ちの良いあいさつができる人は、「心の窓」が開いている人です。「心の窓」が開いている人には、たくさんの友達が寄ってきます。「心の窓」が開いている人同士は、お互いの心がつながります。

二点目は、互いのよさを認め合う教育を充実させ、生徒のみなさんにとって楽しく、気持ちよく過ごせる学校をめざしています。そもそも学校では、できなかったことができるようになったり、よいところはさらに伸ばすことができるようになったりしていきます。人はそれぞれ、得意なこと・不得意なことはありますが、人のよくないところやできないことをさがすのではなく、一生懸命努力していること、すばらしいことには、互いに拍手をおくりましょう。

ぜひ、「気持ちよいあいさつ」「自他の尊重」を心がけながら、この三年間の中学校生活を充実させてくれることを願っています。

結びとなりますが、校長として、こどもたち一人一人が確かな学力を身に付け、毎日元気で楽しい学校生活を送ることができるよう誠実にそして心を込めて教育にあたって参ります。

本年度も、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。